



〈令和 7 年度〉
秋田リカレント教育プラットフォーム
「新サービス・商品企画講座」
募集要項

主 催：秋田大学地域共創機構
秋田リカレント教育プラットフォーム
共 催：NTT 東日本株式会社秋田支店
株式会社 NTT DX パートナー

秋田リカレント教育プラットフォーム「新サービス・商品企画講座」

1. 趣旨

急速な少子高齢化と人口減少が進む秋田では、労働力不足や地域経済の停滞が深刻な課題です。この現状を打開するためには、既存産業の競争力強化に加え、新たな価値を生み出す人材の育成、そして地域全体でイノベーションを起こせる仕組みづくりが不可欠です。

本年度、秋田大学は産業界、自治体、教育機関等と連携した「秋田リカレント教育プラットフォーム（AREP）」を構築しました。秋田が抱える課題を解決するためには、多角的なアプローチが必要です。AREP は地域のニーズを踏まえ、単なる知識の提供にとどまらず、秋田の現状と未来を見据えた、実践的な学びの機会を提供してまいります。

2. 概要・目的

本講座は、デザイン思考（ユーザー視点で課題を発見し、解決策を導く手法）やリーンキャンパス（ビジネスモデルを視覚化するフレームワーク）を活用し、新たな商品やサービスの創出手法を学ぶ実践型プログラムです。

株式会社 NTT DX パートナーが提供する「架空商品モール（生成 AI）」を活用し、多様な立場の参加者が協働しながらアイデアを創出します。また、本講座では、新たな展開や着想を求める企業（課題持込み企業）が、実際のテーマや検討材料を提示し、参加者とのフィールドワークやディスカッションを通じて仮説検証や概念実証（PoC）を行い、商品・サービスの具体化を図ります。

3. 実施日程

令和7年12月 9日（火） 13:00－18:00（Day1）

12月 23日（火） 9:00－18:00（Day2）

※Day2 はフィールドワークのため時間は各グループで設定

令和8年 1月 14日（水） 13:00－18:00（Day3）

1月 26日（月） 13:00－18:00（Day4）

2月 20日（金） 13:00－18:00（Day5）

4. 対象者

新商品企画に意欲のある社会人と秋田大学学部生、大学院生

5. 募集人員

- 課題持ち込み企業 2 社 6 名（各社から 3 名：経営層の社員 1 名＋社員 2 名）
- 新商品企画に意欲のある社会人：4～6 名
- 新商品企画に参加してみたい大学生：4 名

6. 受講要件

- 課題持ち込み企業：自社の強み（技術、サービス等）を活かした新規事業や商品開発を目指していること。経営層の社員は Day1 と Day5 のみの参加となるため、両日参加できる方。
- 社会人：企業課題の解決や新商品・サービス創出に意欲があり、多様な参加者との協働や実践的な学びを求める方。
- 大学生：フィールドワークやディスカッションに主体的に参加できること。Day1、Day2 に必ず出席できる方。※Day3 以降は学業を理由とする、途中参加、途中退席を認めます。

7. 受講料

- 課題持ち込み企業
 - ・ 本来受講料：100 万円 → 初年度に限り無料
 - ・ ただし、参加者（社員）は 1 名につき 25,000 円（税込）※経営層の社員は無料
- 新商品企画に意欲のある社会人
 - ・ 1 名につき 25,000 円（税込）
- 大学生
 - ・ 無料

※納付された受講料は原則返還しません。受講料の支払いは、クレジットカード決済のみとなります。

8. 募集期間（予定）・申込

- 課題持ち込み企業
 - ・ 9 月 1 日（月）～10 月 15 日（水）
- 新商品企画に意欲のある社会人、大学生
 - ・ 10 月 16 日（木）～12 月 2 日（火）

申込みフォームにて受付（<https://forms.cloud.microsoft/r/Wa06MtRpiB>）。定員に達し次第締め切り。

9. 実施形態・講義内容

対面でのワークショップ形式で実施します。また、実施日程以外にコミュニティサイトやオンライン会議ツールを使つてのグループワーク（オンライン）を適宜実施します。

日程	テーマ	内容	アウトプット
Day1 1300 1800 対面	デザイン思考の理解と生成 AI を使った解決策のアイディエーション	- デザイン思考について活用事例を通じて理解する - 地域での実践者（地域コーディネーター）の経験を聞き、地域で活動を進めるイメージを形成する - 生成AIを使ったアイディエーションを通じ、新規事業アイデアが生み出される過程を体感する	新規事業アイデア
Day2 900 1800 ※グループごとに設計 対面	フィールドワークにより実際に現場で抱える課題を理解	- 課題を抱える人（ペルソナ）がいる現場や課題持ち込み企業を訪問し、課題の詳細を掴む - フィールドワークをもとにした取り組む課題とその解決策案（新規事業案）を検討する	フィールドワークの内容を踏まえた解決策案
Day3 1300 1800 対面	ペーパープロトの作成とアイデアの共有	- 実際に手を動かし新規事業案のペーパープロトを作成する - 作成したペーパープロトをシェアし、他チームメンバーとのディスカッションを通じてアイデアをブラッシュアップする	ペーパープロト（実物）
Day4 1300 1800 対面	ビジネスモデルの設計	- PoCの進捗状況を確認し、Day5までの行動計画を設計する - Day3までに立案した新規事業案のビジネスモデルキャンバスを設計する	新規事業案のビジネスモデルキャンバス
Day5 1300 1800 対面	PoC結果の検証と新規事業の発表	- Day4までの検討結果（プロダクト・ビジネスモデル・PoC計画書）を発表 - 経営層の社員からのフィードバックやDXPからのビジネスモデルの振り返りを実施し、さらにビジネスモデルを磨き上げ、今後の新たな事業創出に向けて意見交換や行動設計を実施する	新規事業の発表

【留意事項】

- ① パソコンの使用が必須となるため、受講生は自身のパソコンを必ず持参してください。
- ② Day2 はフィールドワークを実施します。現地集合、現地解散となります。参加する学生は公共交通機関を利用し、事故のないようにしてください。参加者には別途詳細を連絡します。

1 0．実施会場

Connect Labo OMOCE（秋田県秋田市中通4丁目4-4）※NTT 東日本秋田支店内
お車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

1 1．成績評価方法

講義への出席状況（3日以上出席）やグループワーク（オンライン）への参加状況、各回の課題の取り組み状況を総合して修了を判断します。修了生にはデジタルバッジ（修了証）を授与します。

1 2．担当講師

- ・株式会社 NTT DX パートナー マネージャー 米山 剛史
- ・ファシリテーター2名（未定）

1 3 . 問 合 せ 先

秋田大学 地方創生・研究推進課

住所：〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話：018-889-3246

E-mail：dxdx@jimu.akita-u.ac.jp

株式会社 NTT DX パートナー まちづくり事業部

住所：東京都新宿区西新宿 3-19-2 NTT 東日本本社ビル9階

電話：03-6803-8032

E-mail：akita.univ-recurrent@nttdxp.co.jp